



下野市歴史の風致維持向上計画

平成31年3月 下野市

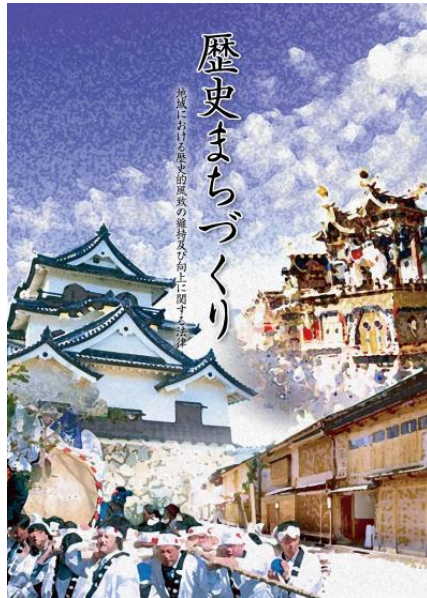


計画期間：平成31年度（2019）～平成40年度（2028）

歴史まちづくり法とは

日本には、城や神社、仏閣などの歴史上価値の高い建造物が、またその周辺には町家や武家屋敷などの歴史的な建造物が残されており、そこで工芸品の製造・販売や祭礼行事など、歴史と伝統を反映した人々の生活が営まれることにより、それぞれ地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(通称「歴史まちづくり法」)は、このような良好な環境(歴史的風致)を維持・向上させ後世に継承するために制定されました。

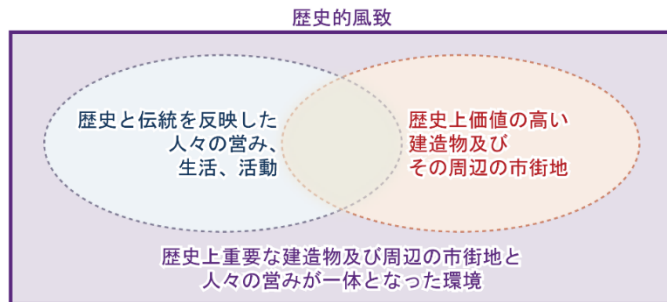
歴史まちづくり法では、国指定・選定文化財を中心とする歴史的風致の維持及び向上について市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国(文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣)が認定し、認定都市の取組を支援する仕組みとなっています。



歴史まちづくり法のパンフレット

歴史的風致とは

歴史まちづくり法第1条で定義される歴史的風致とは、地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境とされ、歴史的建造物とそこで営まれる人々の活動を合わせた概念です。

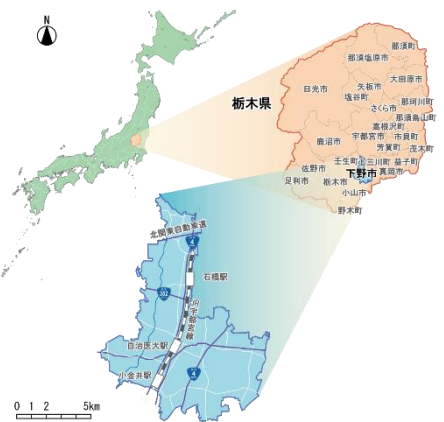


歴史的風致の概念図

下野市の概要

下野市は、関東平野の北部、栃木県の中南部に位置し、都心から約85km圏にあり首都圏の一端を構成しています。北は県都宇都宮市、南は小山市、東は真岡市(旧二宮町)と上三川町、西は栃木市と壬生町に接し、市域は南北約15.2km、東西約11.5km、面積は74.59 km²で、県内最小面積の市です。

本市の東部に鬼怒川と田川、西部に思川と姿川が南流しています。河川に接する低地は水田として利用され、低地と対になる台地は根菜類などの商品作物のほか、生産開始から300年の歴史を持つ干瓢の原料となる夕顔畑が広がっています。



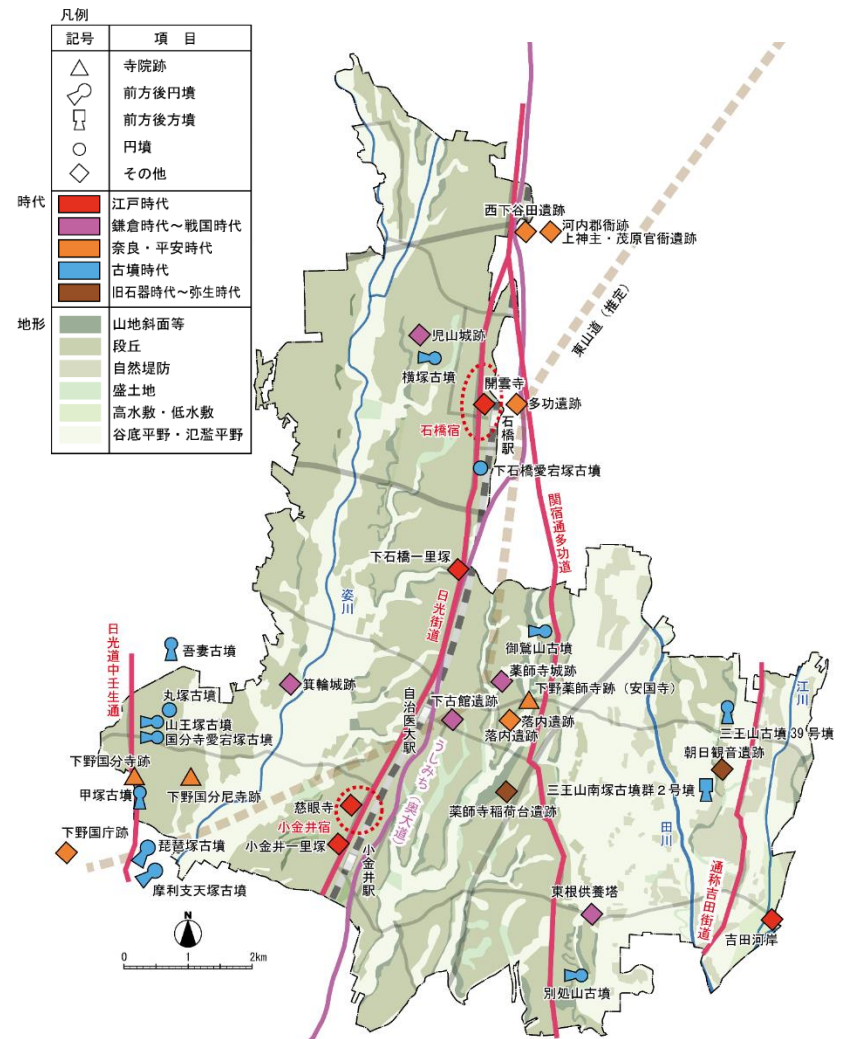
下野市の位置と地図

下野市の歴史的風致形成の背景

下野市は、平成18年(2006)1月10日に、南河内町・石橋町・国分寺町が合併して誕生しました。

本市は、約1万2千年前の旧石器時代から現代に至るまで、日本列島の北と南を結ぶ結節点的役割を担い、文化が交じり合う地点として発展してきました。弥生時代後期には、南関東の諸地域から人々が流入した痕跡を示す土器類が出土しています。古墳時代には、畿内や東海地方の古墳文化の影響を受けて、前方後方墳や前方後円墳が築造され、全長100mを超える首長墓がおよそ200年間に渡り、造り続けられてきました。

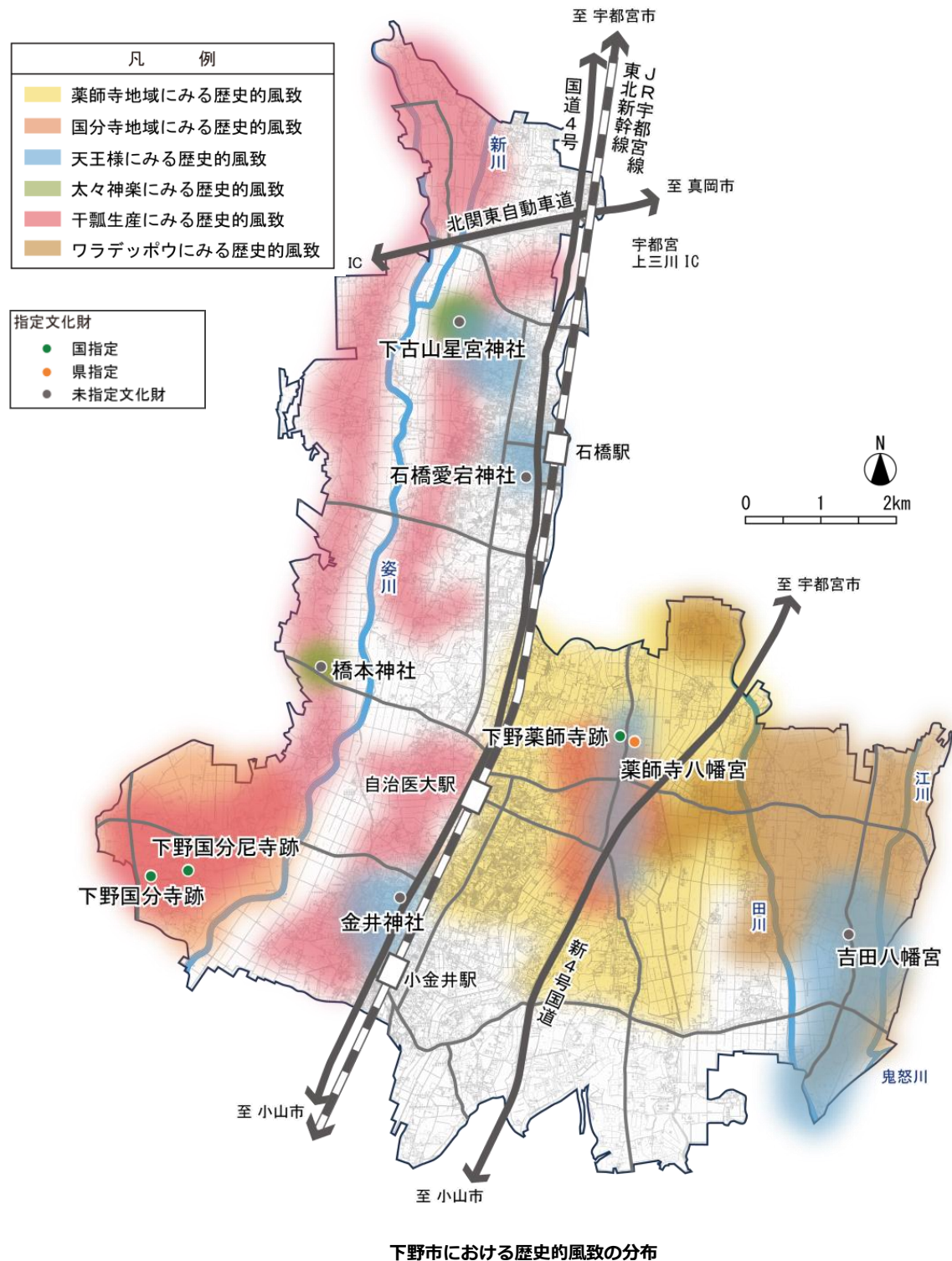
なかでも本市には、古代東国仏教の中心寺院である下野薬師寺跡、下野国分寺跡、下野国分尼寺跡が存在しています。そのうち下野薬師寺跡、下野国分寺跡は、足利学校(足利市)とともに、大正10年(1921)に栃木県で初めての国の史跡に指定されました。その後、下野薬師寺跡と下野国分寺跡はおよそ100年の間、地域住民の協力を得ながら調査、保存、整備が行われてきました。下野国分尼寺跡は、長年その所在が知られておらず、昭和39年(1964)の民間開発で偶然見つかりました。その直後から調査組織が編成されて、4か年に渡る調査が行われました。また、昭和40年(1965)に国の史跡に指定され、その重要性から迅速な公有化と保存、整備が行われ、全国初の国分尼寺跡の史跡整備となっています。下野薬師寺跡及び下野国分寺跡も同様に整備事業が実施され、活用が進められています。



下野市における歴史的環境の分布

下野市の維持向上すべき歴史的風致

下野市は、西部に姿川、思川が、東部には田川、鬼怒川が南流し、南へ緩やかに傾斜しながら南北に伸びる台地の周辺に段丘面を形成しています。特徴的な地形により、住みやすい諸条件である水はけがよく通風に優れ、日当たりが良好で眺望がきく環境が限定されていたため、古代から現代まで、遺跡や集落等は河川、沢等に近い台地部のほぼ同じ位置に継承され、各時代の遺構が重複して発見されています。そのような連綿と続く集落生活に溶け込みながら、各時代や地域において本市特有の歴史的風致を形成してきました。



1. 薬師寺地域にみる歴史的風致

下野薬師寺周辺の集落は寺院創建時から建設にかかわり、その後も寺院を支えるなど密接な関係あったと考えられています。周辺の集落と寺院との関係、そして周辺環境を含めた空間構造は下野薬師寺を中心に形成・維持そして継承され、特有の歴史的風致を形成しています。



2. 国分寺地域にみる歴史的風致

国分寺地域は下野国分寺・国分尼寺が建立されるなど、古代の下野国の中心的地域でした。現在、国分寺は場所を変えて引き継がれ、周囲の神社や平地林などと、この地域における信仰や伝統行事、日常生活などにおいて有機的な関係を保ちながら、特有の歴史的風致を形成しています。



3. 天王様にみる歴史的風致

本市の八坂祭は、神社の祭神である牛頭天王にちなんだ「天王様」という愛称で地域の人々に親しまれています。天王様は市内のほぼ全域でみられ、特に薬師寺、本吉田、石橋、下古山、小金井の5つの地域で規模の大きい天王様が行われています。祭礼当日は、各地域で神輿渡御が行われています。



4. 太々神楽にみる歴史的風致

下古山星宮神社と橋本神社では、江戸あるいは明治期から続くといわれる太々神楽が毎年奉納されています。神聖な雰囲気の中、面をつけた舞手が舞う様子は、歴史的な風情があります。舞や演奏の技術は、保存会をはじめとする地域の人々によって受け継がれています。



5. 干瓢生産にみる歴史的風致

干瓢は300年もの生産の歴史をもつ本市の特産品です。市内の広範囲で生産が行われており、当地域の近代以降の経済発展に貢献したのみでなく、堆肥の原料となる落ち葉を供給する平地林と夕顔畑、干瓢生産の場である農家住宅が一体となった本市特有の文化的景観をつくり出しています。



6. ワラデッポウにみる歴史的風致

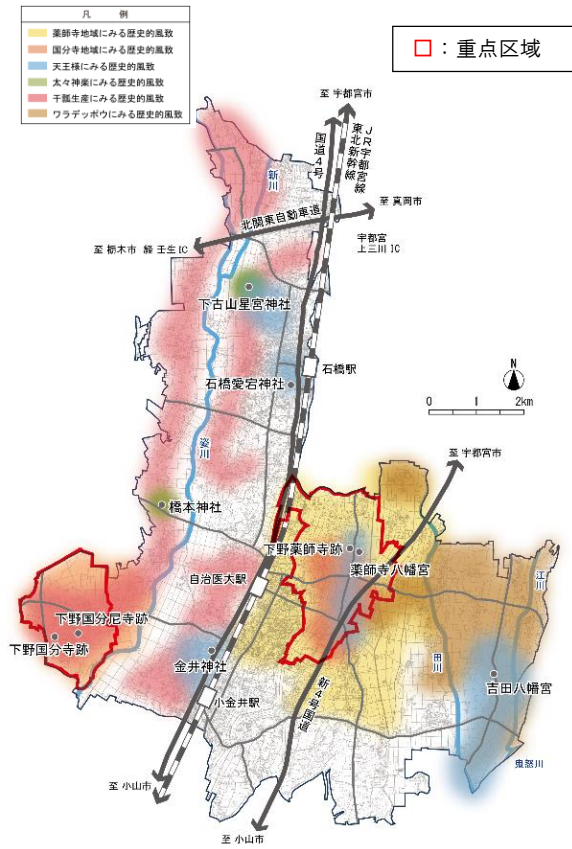
ワラデッポウは、藁を束ねて縄を巻いた藁鉄砲（叩き棒）を作り、子どもが集団で地区の家々へ行き、豊作を願う掛け声を唱えながら、藁鉄砲で地面を打つ行事で、吉田地区と薬師寺地区で継承されています。藁鉄砲の制作は、学校や育成会の活動を通して、親やお年寄りから子どもたちへ伝承されています。



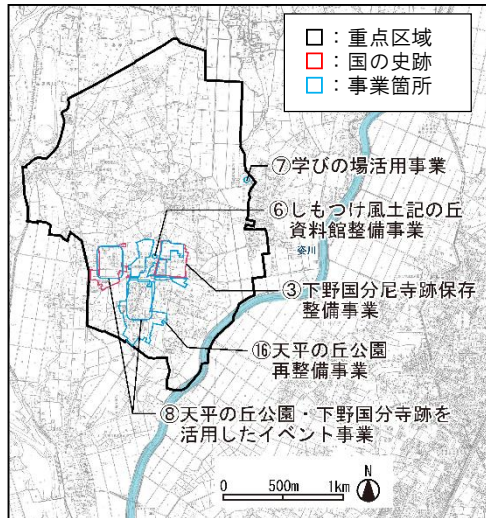
歴史的風致の維持向上のための事業について

重点区域は、国指定の文化財を中心としてその他の多様な歴史的な要素が集積し、歴史と伝統を反映した人々の生活が現在も展開され、それらが一体となって、良好な環境を形成している範囲とするとともに、歴史的風致を構成する要素や活動の維持や発展に寄与する施策を重点的に実施することにより、歴史的風致の維持向上が効果的に得られる範囲とします。

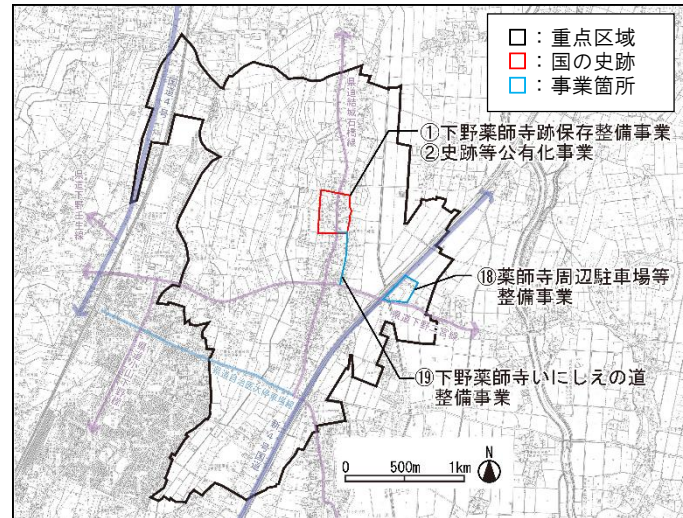
下野市の歴史文化の発展の基盤をなす地域として、国指定の史跡である下野薬師寺跡、下野国分寺・下野国分尼寺跡周辺は本市の歴史的風致を形成しており、今後の歴史文化を活かしたまちづくりの拠点としても重要な位置づけにあります。これらの状況を踏まえ、本計画では、「天王様にみる歴史的風致」と「干瓢生産にみる歴史的風致」の一部を内包し、「下野薬師寺の創建にみる歴史的風致」の範囲である「薬師寺地区」、及び「国分寺地域にみる歴史的風致」である「国分寺地区」を重点区域として設定し、重点的かつ一体的な施策を展開することにより、本市のさらなる歴史的風致の維持・向上を図ります。



下野市における歴史的風致と重点区域



重点区域「国分寺地区」面積：360ha程度



重点区域「薬師寺地区」面積：610ha程度

■重点区域全域を対象とした事業
⑤ 歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業

■市全域を対象とした事業
④ 地域の文化財の総合的な保存活用に係る基本計画(仮称)策定事業 ⑨ 歴史文化発信事業
⑩ ローカルガイド育成事業(文化財観見ガイド養成事業) ⑪ 民俗芸能・伝統行事継承事業
⑫ 伝統文化体験事業 ⑬ 歴史学習事業 ⑭ 干瓢生産・消費推進事業
⑮ 干瓢生産道具保存活用事業 ⑰ 景観計画の策定 ⑳ 情報案内・説明板設置事業

地域の歴史を伝える文化財の保存・活用に関する事業

① 下野薬師寺跡保存整備事業

これまでの整備は古代仏教寺院としての主要伽藍の一部に限られていたため、基壇復元などを全体的に行うことにより、下野薬師寺を効果的に理解できる環境をつくります。



下野薬師寺跡復元回廊

歴史的風致の認識向上・魅力発信に関する事業

⑥ しもつけ風土記の丘資料館整備事業

しもつけ風土記の丘資料館を下野市の埋蔵文化財の情報発信拠点として改修を行い、下野市の歴史を発信し理解を深めることのできる施設とします。



しもつけ風土記の丘資料館

歴史と伝統を守り、継承する人々の活動に関する事業

⑭ 干瓢生産・消費推進事業

良質苗の提供などの生産支援を行い、減少傾向にある干瓢生産の維持拡大を図っていきます。また、消費については、魅力発信に係るイベントを効果的に行い消費拡大につなげていきます。



夕顔畑

地域の歴史を伝える文化財の保存・活用に関する事業

⑯ 天平の丘公園再整備事業

国分寺地域における平地林の環境を伝える天平の丘公園を再整備することで、歴史的風致の維持向上を図ります。



天平の丘公園

歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の維持・向上に関する事業

⑲ 下野薬師寺いにしへの道整備事業

下野薬師寺とゆかりのある現・薬師寺(旧安国寺)、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶ市道の美装化により、多くの薬師寺の市民や来訪者が歴史・文化を感じながら回遊できる環境をつくります。



市道4131号

歴史的風致形成建造物の指定について

本計画において、下野市の維持向上すべき歴史的風致を形成する歴史的建造物のうち、重点区域内における歴史的風致の維持及び向上を図る上で、必要かつ重要と認められる建造物を「歴史的風致形成建造物」として指定します。これより指定文化財の保存とともに、指定文化財以外の歴史的建造物の保存を推進します。以下は指定候補の抜粋です。

六角堂



江戸時代後期(市指定)
(薬師寺地区)

国分寺薬師堂



近世
(国分寺地区)

国分寺釈迦堂



昭和36年(1961)以前
(国分寺地区)

御鷲山古墳



6世紀後半
(薬師寺地区)



栃木県下野市